

# 「学びのユニット」指導計画 器楽 リコーダー A



姿勢とかまえ方，指穴の番号と指番号を確認し，「リズム de ゴー」でタンギングを身に付けて演奏します。また，ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーを同じ運指で演奏することから関係性を理解し，「しりとり歌」「チャイニーズ・ダンス」を表現します。学習のまとめとして，アルト・リコーダーで「喜びの歌」「オーラ・リー」を，ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーのアンサンブルで「メリーさんの羊」を演奏します。カノン1で合わせて演奏する楽しさを体験することもできます。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

### 手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・ リコーダーの左手の運指の音域や音色
- ・ リコーダーの奏法（タンギング）と音色やリズムとの関係
- ・ ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーの音域の違い
- ・ 旋律のまとまりとブレスとの関係（**オーラ・リー**）
- ・ ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーのテクスチャ（**メリーさんの羊**）
- ・ 速度の変化 rit.（やフェルマータ）と合わせ方

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (2) 器楽				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○		○	○	

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	リコーダーの音色や響きと奏法の関わりを理解する。[イ-(イ)] 創意工夫を生かした表現で演奏するためのタンギングや左手の運指などの技能を身に付ける。[ウ-(ア)]
思考力・判断力・表現力等	器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	リコーダーの音色や響きと奏法の関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するためのタンギングや左手の運指などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	器楽表現に関わる知識（リコーダーの音色と奏法との関わり、曲想と音楽の構造との関わり）や技能（タンギングや左手の運指など）を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 器楽 リコーダーB



「うみ」「アメージング・グレイス」ではアルト・リコーダーの右手の運指を確認し、息の出し方を工夫しながら演奏します。

「ロング・ロング・アゴー」では、アルト・リコーダーの音色を聴き取りながら、低い音を表現する奏法を身に付けることを目指します。「ソナタ K.331」では、旋律のまとまりを工夫し、互いの音を聴き取りながら合わせて演奏します。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・アルト・リコーダーの右手の運指の音域や音色
- ・旋律のまとまりとブレスをとる箇所（うみ、アメージング・グレイス）
- ・拍子や速度を共有した他の声部との合わせ方（アメージング・グレイス、ソナタ K.331）
- ・フレーズとブレスとの関係（ソナタ K.331）

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (2) 器楽				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○		○		○

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりを理解する。[イ-(イ)] 創意工夫を生かし、他の声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。[ウ-(イ)]
思考力・判断力・表現力等	器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準 (観点ごと)

知識・技能	アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かし、他の声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	器楽表現に関わる知識 (アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わり) や技能 (他の声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する) を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 器楽 リコーダーC



「サムのひとりごと」では、ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーでサミングや息のコントロールを身に付けて表現します。

これらの技能を生かしてソプラノ・リコーダーで「誰も知らない私の悩み」、アルト・リコーダーで「レヴェル・プレイン」を演奏し、曲想の変化とフレーズとの関係を捉えながら表現を工夫します。なお、「カノン2 優しき流れ」は息のコントロールを身に付ける際に活用することができます。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・サミングを用いる音域や音色
- ・音域や音色と息のコントロールとの関係（誰も知らない私の悩み、レヴェル・プレイン）
- ・速度や旋律のまとまりとブレスをとる箇所との関係

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (2) 器楽				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○	○		○	

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	曲想と音楽の構造との関わりを理解する。[イ-(ア)] 創意工夫を生かした表現で演奏するための息のコントロールやサミングなどの技能を身に付ける。[ウ-(ア)]
思考力・判断力・表現力等	器楽表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準 (観点ごと)

知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための息のコントロールやサミングなどの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	器楽表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(息のコントロールやサミングなど)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 器楽 リコーダーD



ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーを用いて、「きらきら星」ではリコーダー・アンサンブルを、「浜辺の歌」では二部形式を生かした表現を工夫することができます。  
 「威風堂々」では、リコーダーの組み合わせも工夫しながらアンサンブルで表現します。  
 さらに、「カノン3 うぐいすのカノン」を表現することでアンサンブルの楽しさを味わうことができます。

## ■ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーの音色の違い
- ・反復による楽曲全体の構造（**きらきら星**、**威風堂々**）
- ・二部形式による楽曲全体の構造（**浜辺の歌**）
- ・二つの声部のテクスチャ（**きらきら星**、**威風堂々**）

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (2) 器楽				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○	○			○

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	曲想と音楽の構造との関わりを理解する。[イ-(ア)] 創意工夫を生かし、全体の響きを聴きながら合わせて演奏する技能を身に付ける。[ウ-(イ)]
思考力・判断力・表現力等	器楽表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 創意工夫を生かし、全体の響きを聴きながら合わせて演奏する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	器楽表現に関わる知識（曲想と音楽の構造との関わり）や技能（全体の響きを聴きなが合わせて演奏する）を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。



# 「学びのユニット」指導計画 器楽 篠笛



篠笛のかまえ方や手孔（指孔）の塞ぎ方、唇の形（引き方）などの基本的な奏法を，【学びリンク】を参照しながら身に付けます。

「たこたこあがれ」ではさし指（指打ち）を身に付け，「ひらいたひらいた」でこれらの技能を生かして表現します。「さくらさくら」では，新しい音を加え篠笛の音色や響きを味わいながら表現を工夫します。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・ 篠笛の音の出し方と音色との関係
- ・ 呂音域と甲音域の音色の違い
- ・ さし指（指打ち）と旋律のまとまり
- ・ 「ひらいたひらいた」と「さくらさくら」の音域の違い
- ・ 「ひらいたひらいた」と「さくらさくら」を演奏する速度

## ■ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (2) 器楽				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○	(○)	○	○	(○)

※p.22 の教材を追加することで[イ-(ア)]や[ウ-(イ)]の取扱いを選択することができます

## ■ユニットの目標の設定

知識及び技能	篠笛の音色と奏法との関わりを理解する。[イ-(イ)] 創意工夫を生かした表現で演奏するためのかまえ方や音の出し方，運指などの技能を身に付ける。[ウ-(ア)]
思考力・判断力・表現力等	器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら，器楽表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

## ■ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	篠笛の音色と奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するためのかまえ方や音の出し方，運指などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	器楽表現に関わる知識（篠笛の音色と奏法との関わり）や技能（かまえ方や音の出し方，運指など）を得たり生かしたりしながら，器楽表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は，一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 器楽 尺八



尺八のかまえ方や指孔の塞ぎ方などを【学びリンク】を活用しながら確かめ、音色を聴き取りながら音の出し方を身に付けます。

「もういいかい」では、息の出し方や指孔の塞ぎ方などの基本的な奏法を確認し、尺八の音色や響きを聴き取りながら演奏します。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・ 尺八の音の出し方と音色との関係
- ・ 乙音域の音色
- ・ タンギングをしないで指孔をすばやく開閉する奏法と旋律のまとまり
- ・ 「**もういいかい**」を演奏する速度

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (2) 器楽				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○		○	○	

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	尺八の音色と奏法との関わりを理解する。[イ-(イ)] 創意工夫を生かした表現で演奏するための音の出し方や運指などの技能を身に付ける。[ウ-(ア)]
思考力・判断力・表現力等	器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	尺八の音色と奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための音の出し方や運指などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	器楽表現に関わる知識（尺八の音色と奏法との関わり）や技能（音の出し方や運指など）を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 器楽 ギター



クラシック・ギターの各部の名称，右手と左手の指の名称を確認し，【学びリンク】を活用しながらアポヤンド奏法とアル・アイレ奏法を理解します。

「アニー・ローリー」では，右手の使い方と左手の運指等の技能を，「Happy Birthday to you」では，ギターの音色や響きを聴き取りながらアポヤンド奏法で演奏します。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・ギターの奏法と音色との関係
- ・アポヤンド奏法とアル・アイレ奏法の音色の違い
- ・調弦と弦を押さえる位置の関係
- ・「アニー・ローリー」と「Happy Birthday to you」の音域の違い
- ・「アニー・ローリー」と「Happy Birthday to you」を演奏する速度

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (2) 器楽				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○	(○)	○	○	(○)

※p.32 の教材を追加することで[イ-(ア)]や[ウ-(イ)]の取扱いを選択することができます

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	ギターの音色と奏法との関わりを理解する。[イ-(イ)] 創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や左手の運指などの技能を身に付ける。[ウ-(ア)]
思考力・判断力・表現力等	器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準 (観点ごと)

知識・技能	ギターの音色と奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や左手の運指などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	器楽表現に関わる知識（ギターの音色と奏法との関わり）や技能（右手の使い方や左手の運指など）を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 器楽 箏 A



箏の各部の名称，柱の立て方，爪の付け方，生田流と山田流の違いを理解し，右手の親指による基本的な奏法を身に付けます。

「練習曲1」「練習曲2」では，かまえ方，爪の付け方，親指の動きなどを，【学びリンク】を活用し確かめながら演奏します。また，二つの練習曲を合わせて演奏し，平調子の響きを味わいながら基本的な奏法を身に付けます。「さくらさくら」では，縦譜の読み方を理解し曲想を感じ取りながら表現を工夫します。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・ 箏の奏法と音色との関係
- ・ 平調子の響き
- ・ 「練習曲1」「練習曲2」のリズムや旋律の違い
- ・ 二つの練習曲を合わせて弾いたときのテクスチャ
- ・ 「さくらさくら」を演奏する速度
- ・ 「さくらさくら」の唱歌とリズムや旋律との関係

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (2) 器楽				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○		○	○	

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	箏の音色と奏法との関わりを理解する。[イ-(イ)] 創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付ける。[ウ-(ア)]
思考力・判断力・表現力等	器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	箏の音色と奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	器楽表現に関わる知識（箏の音色と奏法との関わり）や技能（右手の使い方や縦譜の読み方など）を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。



# 「学びのユニット」指導計画 器楽 箏B



右手の親指の動きの確認と、「押し手」による左手の奏法を身に付けながら「荒城の月」を演奏します。

「荒城の月」では、二部形式を生かして表現を工夫します。さらに、p.42 音のスケッチ 平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏をつくってみよう と関連させ、曲想を味わいながら演奏することができます。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

<b>音色</b>	<b>リズム</b>	<b>速度</b>	<b>旋律</b>	<b>テクスチャ</b>	<b>強弱</b>	<b>形式</b>	<b>構成</b>
-----------	------------	-----------	-----------	--------------	-----------	-----------	-----------

- ・ 平調子の響きと構成する音
- ・ 平調子の調弦や旋律と押し手（強押し）との関係
- ・ 旋律の反復と変化
- ・ 旋律の四つのまとまりと二部形式の関係
- ・ 演奏する速度

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (2) 器楽				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○	○		○	(○)

※p.70【入れ替え可能な曲】を追加することで、[ウ-(イ)]の取扱いを選択することができます

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	曲想と音楽の構造との関わりを理解する。[イ-(ア)] 創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や押し手などの技能を身に付ける。[ウ-(ア)]
思考力・判断力・表現力等	器楽表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や押し手などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	器楽表現に関わる知識（曲想と音楽の構造との関わり）や技能（右手の使い方や押し手など）を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 器楽 三味線



三味線の各部の名称や姿勢，左手のかまえ方，バチの持ち方などを確認し，【学びリンク】を活用しながら「開放弦の練習」で基本的な奏法を身に付けて演奏します。

「さくらさくら」では，三味線の楽譜（文化譜）を理解し，勘所の押さえ方を身に付けながら演奏します。また，唄とともに演奏することで曲想を味わいながら演奏することができます。

## ■ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・ 三味線の奏法と音色の関係
- ・ 本調子と三下りによる響きの違い
- ・ 本調子や三下りと，文化譜で用いる勘所の数字との関係
- ・ 「さくらさくら」を演奏する速度

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (2) 器楽				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○		○	○	(○)

※p.51 長唄「勸進帳」から 寄せの合方 を追加することで[ウ-(イ)]の取扱いを選択することができます

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	三味線の音色と奏法との関わりを理解する。[イ-(イ)] 創意工夫を生かした表現で演奏するための勘所の押さえ方や文化譜の読み方などの技能を身に付ける。[ウ-(ア)]
思考力・判断力・表現力等	器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準 (観点ごと)

知識・技能	三味線の音色と奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための勘所の押さえ方や文化譜の読み方などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	器楽表現に関わる知識 (三味線の音色と奏法との関わり) や技能 (勘所の押さえ方や文化譜の読み方など) を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 器楽 太鼓



太鼓の種類や用いられるばち，様々な太鼓に応じたかまえ方や打ち方を，【学びリンク】を活用しながら演奏します。

「基本のリズムを打ってみよう」では，太鼓の音色や響きを聴き取りながら四つのリズムを表現します。また，唱歌を用いてリズムを確認しながら演奏することができます。

## ■ユニットで育む音楽的な見方・考え方

### 手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・ 太鼓の種類や奏法と音色の関係
- ・ 基本のリズムとそれを打つ速さ
- ・ 唱歌のリズムと太鼓のリズム
- ・ 打ち方（左右の手の使い方）と太鼓のリズムとの関係

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (2) 器楽				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○		○	○	

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	太鼓の音色や響きと奏法との関わりを理解する。[イ-(イ)] 創意工夫を生かした表現で演奏するためのかまえ方や打ち方などの技能を身に付ける。[ウ-(ア)]
思考力・判断力・表現力等	器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	太鼓の音色や響きと奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するためのかまえ方や打ち方などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	器楽表現に関わる知識（太鼓の音色や響きと奏法との関わり）や技能（かまえ方や打ち方など）を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。